

## 保健福祉委員会

## ■開放型病床は継続審査に

保健福祉委員会より、平成20年第2回定例会において許可を得ました調査第2号「開放型病床について」の調査経過について御報告を申し上げます。

富良野市における「開放型病床」は、昨年の地域センター病院（富良野協会病院）移転と同時に始まり、これまで、およそ一年間にわたり、病病・病診連携として運用が行なわれてきたところであります。

富良野医師会は、開放型病床数について、急性期病床、今後の経営、共同利用による拡充等を重点に検討のうえ20床とし、重要な「医療の継続性」が実現され、患者にとっても安心の得られるシステムとなると結論づけております。

保健福祉委員会として今後は、先進都市の事例調査を実施し、開放型病床等の調査を深めたいことから、今回は中間報告いたします。

## 経済建設委員会

事務調査「農村観光都市の形成について」の調査の経過と結果について報告致します。中間報告以後、都市事例調査も合せて行い調査を進めてきました。

市政執行方針の中で①農業と観光の融合による地域振興をめざし、農村と都市の交流を進める。②大地で営まれる農業、美しい農村風景、豊かな自然景観この三つが融合し、観光振興を図る。③移住定住対策については、情報の発信やPR活動を通じて定住及び都市と農村の交流を進めるとしています。そして、代表質問の答弁では、様々な課



酒田夢の倶楽前にて

題は新たな農業計画や観光振興計画の策定の中で具体的に検討するとしています。観光振興計画は5月に策定され、併せて議論してきたところであります。

各委員からの質疑や意見は調査時から一貫し、特に議論が集中したのは「農村観光都市」とはどの様なもので、その意義は何か。そして、その事を目指すためには、具体的には何をどうしなければならぬのか。などの点でした。今までの富良野観光は自然観光であり、そこに人が訪れる様になったのが始まりで、日常の営みの中に農業、

農村風景、自然景観があり、市民の暮しが観光資源となつている等の意見がありました。しかし、本調査の課題は行政がどの様に観光に携わるのかであり、この事を論点に進めてきました。

農業と観光の融合による地域振興を図る施策は、農業計画の中で具体的に示されると推察しますが確証は得ていません。いずれにしても行政は、どの様に舵取りをし、農業、農村、自然景観等のバランスを保ち、さらに観光との関わりを生業とする

農業者を育てるためどの様にすべきか、より具体的な方策を立てるべきであります。

また、観光振興計画に示された指針については、早急に具体的施策を熟考の上、広く市民に周知し、事業推進を図る事が肝要であります。以上を記し事務調査の報告とします。

次に第2回定例会において許可を得ました、都市事例調査について報告致します。

7月14日、16日の三日間にわたり、秋田県横手市、山形県酒田市の観光行政について調査をしてまいりました。

横手市の「食と農からのまちづくり」は、食のまちづくり宣言を行い、食の産地としての社会的役割を果たすことで食を通して全国に発信し「食で潤うまち」を目指しています。

酒田市「観光物産館酒田夢の倶楽」では、古くからの歴史、文化による多くの資源に恵まれ、行政が強力なリーダーシップの基に観光行政に取り組みでいます。両市とも将来のまちづくりを基本に観光行政に取り組みでいる姿を強く感じました。